

令和3年度事業計画 <主な事業等の概要>

社会就労センターきたざと（生活介護事業・就労継続支援事業A型・B型・就労移行支援事業）

生活介護事業

個々の障害特性に配慮した支援方法や作業環境を整備し、それぞれの利用者の方が自分のペースで作業に取り組めるよう支援を行っていきます。また欠勤等で安定した利用が難しい利用者の方に対しては、ご本人と話をし、状況を確認していくとともにご家族の方とも連携を図っていきながら安定した利用へとつなげていきます。

また今年度から常勤看護師を配置し、利用者の方の健康管理（体温・血圧測定、服薬状況等）にもより一層努めていきます。

就労継続支援A型事業

地域で生活する障害者の方の就労の場を提供し、利用者個々の地域社会での自立と社会参加を促進していくため、キッズピアあしかが場内業務補助・印刷業務など、当事業所で一般企業と遜色ない仕事を提供して行きます。キッズピア足利では、昨年遊び場のリニューアル工事に伴い、ピクニックエリアが縮小し、軽食販売は終了となりました。今年度からは、玩具の仕入販売を中心に、季節にあった玩具・レイアウト変更を行い、販売促進に努めて行きます。

就労継続支援B型事業

今年度も「エコリサイクル事業」「印刷事業」「環境整備事業」を中心に収入アップを目指し、利用者の方への高工賃支給へとつなげていきます。また、紅茶販売についてはハートショップやイベント等の販売会に積極的に参加するとともにインターネットにおける販売も併せて実施して行きます。

就労移行支援事業

令和3年度4月より新たに事業を開始します。事業所内においては作業訓練や一般常識・就労マナー・対人関係等の習得に向けたプログラムを作成し、一人一人に合った支援を行って行きます。また各関係機関と連携を取り、企業における実習、適性に合った職場探しなどの支援を行い、就労へとつなげて行きます。就労後も継続して職場定着の支援を行って行きます。

また、「公益事業 屋内子どもあそび場 キッズピアあしかが」での対人技能習得の訓練も実施して行きたいと考えております。

年間就職者数（目標）5名・定着率（目標）100%

セルプ絆（就労継続支援事業B型）

就労継続支援B型事業

提供する生産活動は、従来の『peterpan』での製パン及び販売だけでなく、座位での軽作業など利用者の多様性を考慮した作業の提供と支援に取り組みます。利用される方には、作業を中心とする生活の中で、自分の仕事に自信を持って働いていただけるよう環境設定を行います。また、継続的な就労機会の提供やより高い工賃の支給を目指し、常に市場に視野を向け、利用者にあった作業の開拓や開発に取り組みます。また、地域貢献活動として、認知症カフェ『たかろばカフェ』への会場提供・『こども食堂』へのパンの無償提供を引き続き実施します。

ダイアクティビティセンターWIN（生活介護事業）

個別支援計画を基に、利用する方個々の能力や適性に合った様々な活動プログラムを提供します。生活の幅や見聞を広め、より充実したライフスタイルを形成するため、作業・創作・文化・レクリエーション等、地域の社会資源の活用を図りながら多種多様な活動を取り入れて行きます。また、機能訓練を実施し、日常生活能力の維持・向上に努めます。

セルプみなみ（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

生活介護事業

利用者の方の心身の状況に応じた適切な技術をもって、自立支援、日常生活の充実のために必要な支援及び生産活動の機会を提供します。

就労継続支援B型事業

販路拡大、官公需の活用や、新たな製品開発に取り組み、高工賃の支給ができるよう努めます。また、利用者の意向に添って就労に必要な知識、技能を高め、一般就労等への移行に向けた支援に努めます。

グループホーム ドナルド（共同生活援助）

利用者が地域において共同して自立した日常生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談や入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切に行ないます。

また、居宅においてその介護を行う者の疾病やその理由により、障がい児者に緊急的に支援が必要な状況になった場合、短期間の入所の受入れを行い、入浴、排せつ及び食事の介護やその他の必要な支援を行う「足利市あっしーネット緊急時支援事業」を引き続き行います。

ビタミンクラブ（放課後等デイサービス）

知的な障害をもつ児童が、日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適應することができるよう、児童発達支援計画(個別支援計画)に基づき、利用者の個性を最大限に伸ばしながら、楽しさと満足感を感じながら成長できるよう療育支援を行います。また、本年度より公文教育研究会と契約を交わし、療育の一環として公文式学習を取り入れます。本年度は試行的に全利用者に対し1教科を実施し、学力はもとより、集中力をつけることと、成功体験を積むことにより、情緒安定や向上心につなげていけるよう検証していきます。活動にかかる費用については事業所で負担します。

日中一時支援事業 スマイル（日中一時支援事業）

活動する場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練を行うとともに、障害児者を持つ家族の就労支援と日常的に介護している家族の一時的な休養支援として、日中一時支援事業・タイムケアサービスを提供します。

両毛圏域障害者就業・生活支援センター（就業・生活支援センター）

障害者からの相談に応じ、就業及び日常生活上の問題に関する指導・助言等を行うほか、職場定着促進のため、事業主に対して必要な助言等を行うとともに、関係機関との連携等を図ります。業務の円滑かつ有効な実施に資するため、公共職業安定所、地域障害者職業センター、社会福祉施設、医療施設、特別支援学校、当事者団体等の関係機関との連絡会議を開催し、これら機関との連携を図ります。(年2回)

足利むつみ会障害者相談支援センター（指定相談事業所）

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業としてサービス利用計画作成やモニタリング等の業務を行うほか、足利市基幹相談支援事業に職員を出向させます。地域移行支援及び地域定着支援事業として、障害者総合支援法に基づき、施設や病院に長期入所等していた方が地域での生活に移行するための、住居の確保や新生活の準備等について支援を行います。また、居宅で一人暮らししている方等について、相談等のサポートを行います。

特別養護老人ホーム青空（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業・障害短期入所事業）

寝たきりまたはそれに準ずる方、もしくは認知症の方で居宅において適切な介護を受けることが困難な方を対象に入居して頂きます。利用者に対して、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を提供します。また、短期入所やデイサービス・ケアプランセンター等多様なサービスを提供し、周辺地域の住民にとって、安心できる福祉拠点として、介護問題だけでなく、高齢化問題や災害時にも頼られる存在になれるよう努める。地域のニーズに沿った施設運営を目指します。

ふくい保育園

「健康な心と体、豊かな感性」（あかるいえがお げんきにあいさつ おもいやり）を保育目標に掲げ、より一層質の高い保育サービス・地域の子育て支援の提供に努めます。また、運営方針として、子どもの最善の利益を考慮し、保育の実情に応じて創意工夫をし、優れた保育サービスを提供します。地域に根ざし様々な保育ニーズに対応しながら、入園児童の保護者や地域の子育て支援に努めます。子どもの健康・安全及び食育の推進に努めます。また、地域の関係機関と交流を図りながら、子育て支援に関する地域の人材を積極的に生かし、連携します。特別保育事業として、地域子育て支援拠点事業「おひさま」（市委託事業）・一時預かり事業（補助事業）を継続して実施します。

キッズピアあしかが（公益事業）

「屋内子ども遊び場は単なる遊び場としてではなく、子どもの運動機能向上や子育て世代の交流の場となるような機能を備える施設」を目的とし、子供と保護者が安心して、一緒に、楽しく、自由に遊べ、何度でも来たくなるような楽しい時間を提供できるよう努めます。また、運営の一部を障害福祉サービス事業所に委託することで、障害者が地域の中で、一般の方とふれあいながら生き生きと働くことが可能となるとともに、障害者が地域社会の中で自然に社会参画できるようなノーマライゼーション社会の実現を目指し、障害及び障害のある人に関する理解促進を図るための啓発、広報などの活動を一体的に行います。